

(厚生労働省「高齢者権利擁護推進事業」における看護指導者養成研修)  
平成 29 年度「介護施設等における看護指導者養成研修」

開催要項

1. 目 的

- ① 高齢者が尊厳を保持し、その能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援し、権利擁護に必要な援助等を行うための専門的知識・技術を習得する。
- ② 受講者が従事する介護施設等での実践、研修及び各都道府県で実施される看護実務者研修の企画・立案への参画、または講師等となるために必要な研修プログラムの作成方法や、教育技術を習得する。
- ③ 地域における権利擁護等に関する情報共有・連携等のネットワークを構築し推進するための人脈づくりの機会になる。

2. 開催日程：平成 29 年 11 月 30 日（木）～12 月 2 日（土）

3. 会 場：公益社団法人日本看護協会神戸研修センター 研修室 1  
（兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 国際健康開発センター 4 階）

4. 応募期間：平成 29 年 8 月 7 日（月）～9 月 8 日（金）

5. 定 員：約 100 名程度

6. 受講料：1 人 50,000 円（税込・参考テキスト代含む）

7. 受講要件

- ・介護施設等に勤務する看護師
- ・研修修了後に各都道府県で開催される看護実務者研修への参画が期待できる者
- ・過去に都道府県で開催の看護実務者研修の受講をしていることが望ましい
- ・原則として、各都道府県の推薦によること

8. 研修概要

形式	テーマ
【講義】	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 介護保険制度における介護保険施設等の役割と看護職に期待されること<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 我が国の医療・看護・介護の現状と動向</li><li>➢ 地域包括ケアシステムにおける介護施設の役割</li></ul></li><li>○ 介護施設等における看護のあり方 （看護実務者研修への展開のポイントを含む）<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 地域の拠点となる介護施設等の役割と期待される看護・介護</li><li>➢ 高齢者の心身および疾患の特徴と生活支援</li><li>➢ 認知症高齢者と家族の理解と看護</li></ul></li><li>○ 利用者の尊厳ある生活を支える看護</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 尊厳の保持と権利擁護の考え方</li> <li>➤ 高齢者虐待の背景と防止に向けた看護</li> <li>➤ 自己決定と尊厳を守る看取り</li> </ul>
【講義】 【演習】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者の安全な生活を支える看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 介護施設等におけるインシデント・アクシデントの概要</li> <li>➤ 事故防止と発生時の対応</li> <li>➤ 身体拘束等の廃止に向けた取り組み</li> <li>➤ 感染管理対策と感染症発生時の対応</li> </ul> </li> <li>○ 地域を視野に入れた看護マネジメントと地域ネットワーク構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地域包括ケアシステムの概要</li> <li>➤ 施設を取り巻く地域の現状と課題</li> <li>➤ 地域を視野に入れた看護マネジメント</li> <li>➤ 地域ネットワーク構築の方法</li> </ul> </li> <li>○ 介護施設等における看護の人材育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 人材育成の概要と方法</li> <li>➤ 看護実務者研修の企画から実施までのフロー（広報、応募、講師等交渉等を含む）</li> <li>➤ 看護実務者研修プログラムの企画・立案</li> <li>➤ 看護実務者研修の運営</li> <li>➤ 看護実務者研修の実施後（評価から報告書作成まで）</li> </ul> </li> </ul>

## 9. 研修プログラム

研修プログラム案 別紙 1-①参照（講師名入り研修プログラムは受講決定通知時に送付する）

## 10. 申込み方法および受講決定通知方法・問合せ先

### ① 各都道府県主管部局（高齢者保健福祉担当）において推薦者を決定する

本研修参加者の選定については、各都道府県看護協会及び介護保険施設関連団体等の各都道府県支部と十分な連携を図る。

### ② 所定の「申込用紙」に必要事項を記入の上、期限までに下記申込先へ郵送または FAX で提出する。推薦者に優先順位がある場合は、当該欄に明記する。

#### 【申込先】

### ③ 都道府県主管部局および被推薦者本人へ、受講決定通知（採否通知）を送付する。受講決定者には併せて受講案内を送付する。

\*応募者多数の場合には、都道府県別の応募状況等に基づき、選考を行う場合がある。

## 11. 修了書の発行 会長名による修了証書を発行する。（※出席時間 4/5 以上）

## 12. その他

本年、研修の委託を予定していない都道府県内において受講希望者があった場合については、受講要件を満たす場合、自費による参加も受付けることとする。その際も、公費による推薦と同様に「7. 申し込み方法及び受講決定通知方法・問い合わせ先」に記載された方法に即して推薦手続きを行うものとする。

## 13. 研修内容に関する問合せ先

公益社団法人日本看護協会神戸研修センター 教育研修部継続教育課 TEL : 078-230-3254

## 介護施設等における看護指導者養成研修プログラム（案）

日時	研修内容
【1日目】 11月30日（木）	
9:30～9:35	オリエンテーション
9:35～9:40	開 講：担当理事よりご挨拶
9:40～11:00	講義) ●介護保険施設等の看護職に期待されること ・介護保険施設等における看護職の現状と課題 ・介護施設等における看護のあり方～尊厳の保持と権利擁護の理念、安全の理念、生活の理念～ ・根拠となる法律と職員・管理者の役割 ・介護保険施設等の看護職への日本看護協会の取り組みと期待
11:10～12:10	講義) ●介護保険施設等の高齢者権利擁護等推進事業と本研修の意義 ・我が国の高齢者医療・介護の動向 ・地域包括ケアシステムにおける介護施設等の役割 ・高齢者権利擁護等推進事業等の背景 ・介護保険制度と看護職員の役割 ・看護指導者養成研修のねらいと事業としての展開
12:10～13:10	昼休憩
13:10～15:20	講義) ●高齢者の心身と生活の理解 ・高齢者の心身の特徴とよくみられる疾患 ・高齢者のフィジカルアセスメント ・高齢者の身体的機能と生活 ・認知症の理解（医学的、心理的な理解を含む） ・認知症の人の生活のアセスメントと支援
15:30～17:00	講義・演習) ●利用者の尊厳ある生活を支える看護 ・尊厳の保持と権利擁護の考え方 ・高齢者虐待の背景と防止に向けた看護 ・身体拘束の問題点～倫理的側面と安全という側面から <演習>グループワーク「身体拘束廃止に向けた取り組み」について 意見交換（事前課題；自施設で行っていること、できそうなこと）

【2日目】 12月1日（金）	
9:30～10:50	講義・演習) ●利用者の安全な生活を支える看護 ・介護施設等におけるインシデント・アクシデントの概要 ・介護事故防止のための体制整備と防止策 ・事故発生時の対応 ・介護施設等で注意すべき感染症と感染管理対策（感染管理体制の整備も含める） ・感染症発生時の対応 <演習>グループワーク：安全の観点からみた自施設の改善点について

(意見交換による自施設の改善点の明確化)	
11:00～12:30	講義・演習) ●利用者の尊厳ある死を支えるケアと看護 ・自己決定と尊厳を守る看取りのあり方(家族支援も含めて) ・高齢者の看取り期の心身的特徴とケア ・施設内の多職種協働による看取りケア ・地域包括ケアシステムの中における高齢者の看取り <演習>グループワーク:自施設の看取りの現状と課題～看護指導者としてすすめてゆきたいこと～
12:30～13:30	昼休憩
13:30～15:00	講義・演習) ●地域を視野に入れた看護マネジメントと地域ネットワーク構築 ・施設を取り巻く地域の現状と課題 ・地域を視野にいれた看護マネジメント ・地域ネットワーク構築の方法 <演習>グループワーク:自施設の地域における地域ネットワーク構築について
15:10～17:00	講義) ●介護施設等における看護の人材育成① ・人材育成の概要と方法 ・看護実務者研修の企画から実施までのフロー(広報、応募、講師交渉等を含む)

## 【3日目】 12月2日(土)

9:30～12:30	演習) ●介護施設等における看護の人材育成② -グループワーク- ・看護実務者研修プログラムの企画・立案 ・看護実務者研修の運営計画の立案 ・看護実務者研修の実施後(評価から報告書作成まで)
12:30～13:30	昼休憩
13:30～16:30	演習) ●介護施設等における看護の人材育成③ -グループ発表- ・看護実務者研修の運営 ・看護実務者研修の実施評価 ●演習支援者からの講評